

安心して、ずっと住みたいまちづくり

牛久市

総合防災訓練を 実施しました

平成26年11月22日に、「安心して、ずっと住みたいまちづくり」をスローガンに、総合防災訓練を行いました。

この総合防災訓練は、茨城県南部を震源とする直下型地震が発生し、牛久市では震度6強（茨城県南部地震が発生したという想定で、市と市民・各関係機関などが連携し一体となって行ったもので、約1400人が参加しました。

訓練では、午前8時に市民が一齐に避難行動をとる初動訓練および安否確認などを行いました。全市民を対象とする訓練であり、日ごろの防災対策を確認するきっかけづくりとなりました。

その後、訓練は牛久運動公園において行われ、多目的広場において災害対策本部を設置、災害情報収集訓練、住民避難訓練、避難所の受付訓練、応急救護所の開設・運営訓練、倒壊家屋からの救

出・救護訓練、負傷者の搬送訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練などが行われました。

訓練終了後、参加されたさまざまな市民の方が、ともに訓練に参加したことによって、地域の防災力がより高まったのではないのでしょうか。

牛久市では、今後も定期的に総合防災訓練を行ってまいりますので、引き続き皆さんのご協力をお願いします。

■初動訓練

午前8時、訓練開始を告げる緊急地震速報が防災行政無線、かつばメール、エリアメールで市内全域に発信され、一斉に机やテーブルの下に隠れ体を保護する初動訓練を行いました。



初動訓練

■災害要援護者安否確認

24行政区および2準行政区による要援護者の安否確認を行いました。

■災害対策本部設置

市職員が牛久市役所から牛久運動公園に移動し、多目的広場に災害対策本部を本部要員、事務局により設置しました。



災害対策本部設置

■災害情報収集訓練

被害情報を把握するために、市の被害情報収集班、牛久市消防団や牛久消防署の被害情報収集班が災害情報を随時災害対策本部にMCA無線機により報告、被害状況を把握しました。

■住民避難訓練

竹の台、上柏田、下根、ひたち野東の4行政区は徒歩で、ほかの24行政区は車両で牛久運動公園の避難場所に避難を行いました。

■避難所の受付訓練

牛久運動公園多目的広場で避難者の避難受付業務を行いました。



住民避難訓練



災害情報収集訓練



避難者への説明の様子



避難所の受付訓練

■応急救護所の開設・運営訓練

牛久運動公園多目的広場に白テントの応急救護所を開設し、運営を行いました。

また、救出された負傷者のけがの状況を、竜ヶ崎市・牛久市医師会牛久支部および牛久愛和総合病院、つくばセントラル病院によりトリアージし、災害医療活動を行いました。
※トリアージ：負傷度により、負傷者の選別を行うこと。

■倒壊家屋からの救出・救護訓練

牛久消防署特別救助隊により、倒壊家屋2棟から、被災された負傷者を救出しました。

また、救出された負傷者のけがの状況を、トリアージしました。

■負傷者の搬送訓練

自主防災会から、24人の参加により、救出された負傷者を担架で応急救護所まで搬送しました。

■初期消火訓練

各行政区70人の参加により、2列でバケツリレーによる初期消火訓練を行いました。

各行政区および学校教職員34人の参加により、水消火器を使用しての初期消火活動を体験しました。

●牛久運動公園多目的広場内に簡易防火水槽を使用し、消防団66人(第8・第9・第10・第11・第12・第13・第14・第16・第17・第18分団)が、消火活動を行いました。

■ライフライン復旧訓練

茨城県南水道企業団、東京電力竜ヶ崎支社、東日本電信電話株式会社

竜ヶ崎支社、東京ガス竜ヶ崎支社の参加により、「電気」、「水」、「通信」、「ガス」の復旧訓練を行いました。

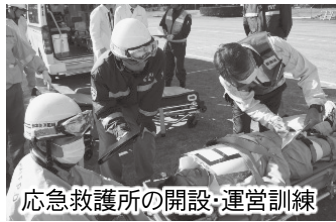
■炊き出し訓練

陸上自衛隊隊員、各行政区の皆さんおよび学校教職員、市職員の参加により、防災用大鍋4個で1500人分の豚汁やおにぎりの炊き出しを行い、参加者全員で試食しました。

問 交通防災課 ☎内線1681、1682



倒壊家屋からの救出・救護訓練



応急救護所の開設・運営訓練



初期消火訓練



負傷者の搬送訓練



初期消火訓練



ライフライン復旧訓練



国土交通省機材展示



炊き出し訓練

講評

行政や関係機関と大勢の市民の皆さんが連携した、有意義な総合防災訓練となりました。参加された皆さんの真剣な姿に感心いたしました。知る、体験することで災害に備えましょう。



稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部
消防長 酒井 健生

大規模災害では、他地域からの支援には時間を要するため、頼りになるのはご近所の人たちです。災害から身を守る一番良い方法は、防災訓練に参加して、備えておくことです。



牛久市消防団
団長 山岡 恒夫

皆様の旺盛な指揮、機敏な行動を拝見させていただきまして大変心強く感じました。災害発生の際には警察も皆様と連携を図りながら迅速に対応してまいります。



茨城県牛久警察署
署長 橋本 康一郎